

吉元 一夢 よしもと・ひとむ

株式会社THINX 代表取締役。データアナリスト・統計士・BIコンサルタント・BIエンジニア。文部科学省認定統計士過程修了。現在は、IT企業のシステム開発やソフトウェア開発にアドバイザーとして従事しながら、パチンコホール・戦略系コンサルタントとして活動。



THINX公式LINE

## 業界唯一の統計士

# トレンド **秘** 解説

#6



文部科学省

文部科学省認定統計士  
221010061

# “スマスロらしさ”というワードに注目

## ～導入から31週目で過去最大の値を示した機種が登場～

今年1月からパチスロの中古相場は、おもしろい動向を示している。その代表的な機種が『Lからくりサーカス』で、これを執筆している2月22日の段階では200万円を超えている。本稿では、なぜここまでの支持を再度集めているのかについて考えてみながら、今後のパチスロ機種の購買の方向感についてもまとめることとする。

同機の魅力のひとつとして考えているのが、プレイヤーが得られる高い勝ち金額にあると分析している。言えるならば、スマスロのレギュレーションを活かした、スマスロらしい機種、ということ。スマスロが登場する前の時代は、同機の勝ち金額はおろか、2万円に到達するのがやつの時代だったので、この点がスマスロの登場によって大きく変わった点のひとつだと考えている。

図1：勝ちの質を表すバランスシート ©THINX-LAB.OLAP SIS ©SUNTAC[TRYSEM]よりデータ引用

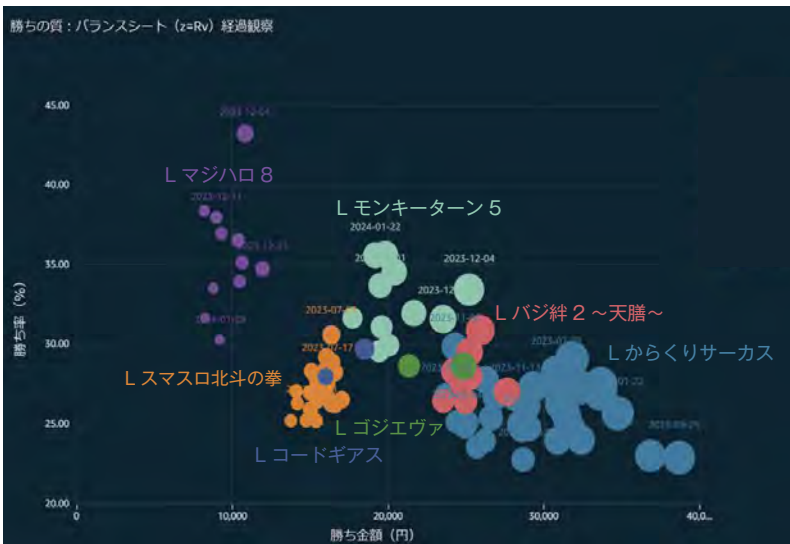
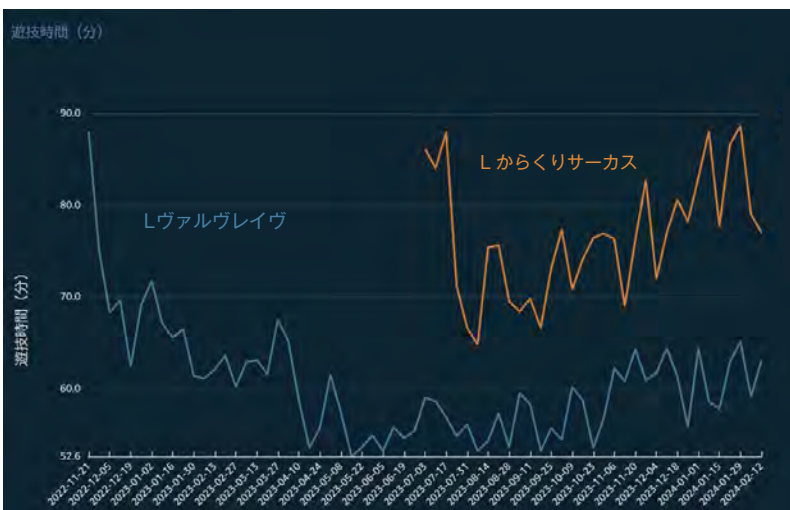


図2：遊技時間 ©THINX-LAB.OLAP SIS ©SUNTAC[TRYSEM]よりデータ引用



実は昨年末頃から高い勝ち金額を有したスマスロらしい機種がプレイヤーから再注目（図1参照）されている。その証拠に同機の遊技時間は、導入から31週目で過去最大の値を示した（図2参照）。こうした結果は、過去を振り返っても見当たらない異様な動向であり、現在、再評価されている理由のひとつとして考えている。

『Lからくりサーカス』の遊技時間も上昇傾向を示している（図2参照）ことから、スマスロらしさ、というワードが再評価されていると考えられそう。つまり、こうした結果に基づけば、スマスロらしい機種を意図して購入していくことが有効に働くと考えられそうなので、今後は、この辺りのデータも意識しながら機種選定を行ってみてはいかがでしょうか。

※ [Rv (THINX社独自指標)] …Reward valueの略称で、報酬値という意味。「勝ち率×勝ち金額」の算術で、遊技機の魅力のひとつとなる「勝ちの魅力」を総量値として表したデータ